

ウエタげんすけ オリジン とは

ウエタげんすけオリジンは好氣的・嫌氣的条件下で働ける有用微生物菌群を利用し、たんぱく質分解酵素・炭水化物分解酵素・脂肪分解酵素・繊維分解酵素等の各種酵素を含み、有機物の分解・悪臭の減少・ハエ・うじの発生抑制後に浄化作用に総合的な効果を発揮するよう商品化しました
基本的に有機物を根本から消化分解し、水とガスと無機物に変える能力が高い事
消化スピードが速いことです

ウエタげんすけオリジンの最終浄化の目的は、生物の維持や生命の活発な蘇りが起こることです
従って、ウエタげんすけオリジンで浄化されて流れていく川や池や海で生物が多く見られるようになります。

ウエタげんすけオリジン 畜舎・堆肥用
(N ET10リットル)

中身撮影



※ダンボール箱入り

安全性

平成11年10月 シンガポール大学において人体における安全性の確認
平成 8年 4月 高知県畜産試験場において家畜におよぼす安全性の確認
平成14年 高知大学においてめだかによる毒性試験確認

ウエタげんすけオリジン畜舎・堆肥用は、有用微生物菌群(げんすけ菌)分解菌・浄化菌・発酵菌を主体として開発された、安全かつ強力な商品です。

●有機物浄化のプロセス

有機物 (フン尿・未吸収試料)

げんすけ
分解菌

- ・ たんぱく質
- ・ 窒素化合物
- ・ 炭水化物

アンモニア(NH3)/強有毒

- ・メチルメルカプタン(好氣的)
- ・硫化水素(嫌氣的)
- ・二硫化メチル(好氣的)
- ・その他

げんすけ
浄化菌

亜硝酸(NO2)/有毒

げんすけ
発酵菌

堆肥化

●ウエタげんすけオリジンの働き

- 1.アンモニア、亜硝酸を素早く分解・硫化物のガスを抑制し悪臭の元を断ちます。
- 2.有機物(フン尿・残餌等)を強力に分解します。(フンの量が減少)
- 3.ハエ・ウジ・ゴキブリ等の発生を抑えます。
- 4.病原菌を家畜の中と外から抑制します。
- 5.床が乾きやすくなります。

悪臭物質

無臭

浄化

悪臭物質

酪農

● 川合牧場における脱臭効果試験成績 (乳牛 85 頭)

※糞尿を簡易浄化槽において処理

年月日	2002年8月5日	2002年8月22日	2002年9月18日	2002年10月3日	2002年10月24日
時刻	11:20	16:45	15:00	15:40	15:30
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
気温	29℃	22℃	21℃	23℃	16℃
風	微風	微風	微風	微風	微風
アンモニア(ppm)	2.0	1.9	1.2	2.9	0.6
硫化水素(ppm)		0.70	0.65	0.20	4.00
メルカプタン類(ppm)		0.5	0.7	0.6	4.5
臭気累計値	1595	961	762	964	756

処理前

無臭に近い

● 畜舎の床での使用(同上 2003 年より)

畜舎内に毎日2回散布

- ・臭いが少なくなる
- ・ハエがいなくなる
- ・乳房炎がなくなる

● 飼料に混ぜる

畜舎飼料に 0.1% 混合して食べさせる

- ・肉質がよいので内臓まで高く売れる
- ・牛舎の臭いが少なくなる
- ・病気にかかりにくくなる

養豚

● 豚舎汚泥テスト(平成 15 年 5 月 10 日～平成 15 年 5 月 31 日) 1ヶ月間

	H.15.5.10 (テスト開始)			H15.5.16	H15.5.24			H15.5.31		
	汚泥量	ウエタげんすけ オリジン	曝気	汚泥量	汚泥量	様子	BOD	汚泥量	様子	BOD
A	1 畧	無	有	91%	70%	分散・黒い	10,300	80%	分散・褐色	2,930
B	1 畧	10cc	有	31%	36%	分散・褐色	892	30%	分散・褐色	325

・ 汚泥量が減り、BODが大きく下がった

畜舎の環境を良好に保って、病気を抑える 悪臭も抑えるので、毎日のお仕事がらくらく

ウエタげんすけオリジン畜舎・堆肥用を使用することによってよい環境が保てるので、家畜そのものによい影響を与えます。その結果、下記のような効果が現れてきますので、大幅なコスト削減につながり、しかも日常の作業が楽になります。

病気の抑制、薬品代・治療代の節約、ストレス解消、呼吸器系の病気の減少、乳牛の乳質・乳量の改善、肉質改善、種付・発情周期の安定など

● 使用者の声のご紹介 ～畜産業者様にご意見をいただきました～

- 薬品代の大幅な節約ができました。
- 病気に対して常に神経を使うことがなくなりました。
- 車両用消毒槽もセメントで埋め、見学の方も靴を履き替えずに見ていただけるようになりました。
- 畜舎の消毒を一切やめました。
- 畜舎内の悪臭がなくなり、呼吸器系の病気が激減しました。
- 畜舎の汚れが落ちやすく清掃が楽になり、畜舎の清掃回数が減って随分省力化ができました。
- フンの量が全体的に 30%くらい減っています。しかも畜舎の湿った部分でも臭くなく、固まりません。
- 使用前は、発酵が思惑通りにできず困っていましたが、使用后1ヶ月を経過した頃より発酵が促進され、臭気が減少。昨年同時期に比べ、ハエ・ウジの発生がほとんど見られなくなりました。また、鶏フンの全体の量が 20%程減りました。
- 堆肥化が早いので臭くなく、かえて香ばしいにおいになります。また、仕上がりの量が少なくなり、処分が楽になったので、コストがかからなくなりました。
- 堆肥化したものは、雨に濡れてもにおいが戻らず、ハエ・ウジはもちろんゴキブリも減り、近所への心配がなくなりました。

● 使用方法（畜舎内の場合）

- 牛・豚 }
採鶏卵 }
・100倍ほどに薄めて糞尿や床を中心に畜舎全体に散布してください。
・糞尿・畜舎内の水分状況によって、原液なのか薄めた物なのか倍率を決めます。
・霧の状態からジョウロで散布する様な状態で使用します。

ブロイラーの場合は粉末を使用します。（粉末・20kg（5kg×4袋入り））

4000羽～5000羽に対し、20kg使用します。

入数10日令と20日令の時期に2回に分けて床上に振りまくだけです。

★次回入雛の度に同上で使用します。

※あまり薄め過ぎると効果は薄れます

※家畜の体に触れたり口から摂取してもなんら悪影響はありません。

● 使用方法（堆肥製造の場合）

堆肥（糞尿）約5トンに対して原液1リットル

倍率は上記と同じ容量で行ってください。

ただし、畜舎内で十分に使用されている場合は、堆肥製造時に再使用は必要ありません。

● 使用上のポイント

ウエタげんすけオリジン畜舎・堆肥用は、いつまでも力を持続し増え続けるというものではありません。

定期的に適量をきちんと散布しなければ、よい結果が得られませんので、使用方法を参考の上、散布時期・散布量を守ってご使用下さい。

また、本材は、（ウエタげんすけオリジン畜産用飼料混合用）と併用して使用いただくほうが、相互作用によって確実に効果を発揮します。

その結果、生産環境の改善がはかれ、速やかな経済力のアップにつながるので、2品同時に併用することをお勧めします。

● 保管上の注意

●湿度の少ない涼しい所に保管してください。

●開封後はなるべく早く使用し使用後は密封をしてください。

●直射日光に当てないでください。